

令和5年度

# 橋梁技術発表会 及び講演会




参加費  
**無料**

定員  
**250名**

申込  
先着順

新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部  <b>技術発表</b>	14:00~14:10	開会の辞 <small>(一社)日本橋梁建設協会 副会長 石原 康弘</small>
	14:10~14:50	① 鋼橋におけるDXの取り組み ~鋼橋事業の生産性・安全性の向上~ <small>DX推進特別小委員会</small>
	14:50~15:00	休憩
	15:00~15:40	② ケン・ブリッチくんに行く保全工事の世界 ~難条件を種々の工夫で乗り越えろ!~ <small>保全委員会</small>
	15:40~15:50	休憩
第2部  <b>特別講演</b>	15:50~16:50	少子高齢化社会に向けて これから準備すべきこと  <small>国土交通省 東北地方整備局 道路部 特定道路工事対策官 雫石 敏見</small> 
	16:50~17:00	閉会の辞 <small>橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 生駒 元</small>

日時  
令和5年 **12月4日** (月)  
14:00~17:00

会場 **仙台国際センター  
桜ホール** 宮城県仙台市青葉区青葉山

申し込み Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>  
受付は令和5年11月6日~11月24日  
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 東北事務所  
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-1  
大樹生命仙台北町ビル (株)IHIインフラシステム内  
TEL.022-262-4855

継続教育 CPDS対象

開催地区 ●東京地区:10月13日(金) ●中部地区:11月10日(金)  
●大阪地区:10月20日(金) ●九州地区:11月17日(金)  
●北海道地区:10月27日(金) ●東北地区:12月4日(月)  
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布 会場では配布いたしません。必要に応じてWebサイトより出力し持参願います。

【アクセス】



- タクシー:仙台駅より所要約7分
- 仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」下車 徒歩1分

## 1 鋼橋におけるDXの取り組み

日本橋梁建設協会や会員会社に取り組んでいるDXに関する事例を紹介し、今回の発表内容は、①建設業の現状と課題、②i-Constructionの動向、③DXの取組、④CIMの動向の4つの項目を挙げています。

建設業の現状と課題では、建設業就労者数の減少と高齢化という課題を図示して説明しています。就業者数に加えて、労働生産性の推移についても他産業と比較したグラフを示し、課題として挙げています。次に、i-Constructionの動向として、平成27年に国交省より発表された目的や全体イメージを提示した後、現時点のBIM/CIMの動向を示しています。

鋼橋におけるDXの取組は、①測量・地質調査、②設計・施工計画、③工場製作、④施工、⑤検査・納品、⑥維持管理の6項目に分類して、各々の具体的な事例を紹介しています。また、今後、活用が期待される要素技術も合わせて紹介します。

最後に鋼橋のDX技術の最たるものであるCIMの動向として、自動設計システムや自動原寸システムの概要、3次元モデルの自動生成やデータ連携の説明、および具体的なCIMモデルの活用事例を報告します。

## 2 ケン・ブリッチくんで行く保全工事の世界

既に存在する構造物を対象とする補修・補強工事は、設計においても施工においても新設にはない種々の制約を受けることとなります。主なものとしては、対象構造物のインフラとしての機能を阻害しないための施工時間的な制約、対象構造物の構造および隣接構造物などによる施工スペース、空間的な制約、既設構造物の誤差や供用後の変形なども考慮する必要があるといった設計・製作的な制約などがあげられます。

今回は、これらの制約が多く設計・施工的に非常に難条件であったものの、種々の工夫により無事施工した保全工事事例を、ケン・ブリッチくん\*の見学とあわせて紹介したいと思います。

\*ケン・ブリッチくん：特別広報委員として活動している橋建協のマスコットキャラクターです。

### 特別講演会 講演者紹介

国土交通省 東北地方整備局 道路部  
特定道路工事対策官

雫石 敏見

#### 講演テーマ

## 少子高齢化社会に向けてこれから準備すべきこと

#### 【略歴】

- 2016年 東北地方整備局  
仙台河川国道事務所 保全対策官
- 2018年 環境省 福島地方環境事務所  
総務部 企画課長
- 2020年 東北地方整備局 磐城国道事務所  
副所長
- 2022年 現職

#### 【講演概要】

すでに始まっている少子高齢化社会への対応のため、働き方改革が謳われ、私達の回りにも様々な変化が起こっていると実感していると思います。今、私たちが取り組んでいることとして、新技術の開発、建設DX等がありますが、これらを紹介しつつ、今後、私たち自身、どうしていけばよいのだろうかということを、一緒に考える時間としたいと思います。

令和5年度

橋梁術発表会

東北地区

12月4日(月)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会  
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」  
の申し込みはこちら。